

1 内政

（1）新型コロナウイルス

- ア 保健省発表による現在のワクチン接種状況（2021年10月末時点）
1回目接種済4,288,619人、2回目接種済2,913,204人、合計約7,201,823回。
少なくとも1回接種した人の割合は全人口の45%。
- イ 当国のワクチン到着の状況（計9,212,882回分）（2021年10月末時点）。
- （ア）政府による購入：ファイザー社製2,844,270回分到着済（契約数約710万回分）、ロシア製スプートニクV 8.6万回分到着済（契約数420万回分）、アストラゼネカ社製974,020回分到着済（契約数140万回分）
 - （イ）COVAXファシリティを通じた無償取得：モデルナ社製・アストラゼネカ製・ファイザー社製（COVAX経由の米国供与及びスペイン供与（下記（カ）とは別）を含む）計4,714,820回分
 - （ウ）メキシコ政府からの譲渡：アストラゼネカ社製30万回分
 - （エ）イスラエル政府からの譲渡：モデルナ社製0.5万回分
 - （オ）エルサルバドル政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約8万回分
 - （カ）スペイン政府からの譲渡：アストラゼネカ社製10万回分
 - （キ）ドミ（共）政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約10万回分
- ウ 10月末時点時点で、当国（人口約945万人）における累計感染者数は375,636人、死者数は10,249人。（国家危機管理対策本部（SINAGER）発表）。
- エ 10月25日から政府は医療従事者や高齢者を手始めに、3回目接種を開始することを決定した。

（2）大統領選挙に向けた動き

- ア 10月13日、リブレ党、ホンジュラス救済党（PSH）及び社会民主統一革新党（PINU）が大統領選挙について野党連合を結成する旨発表した。
- （ア）13日午後、リブレ党シオマラ・カストロ候補とPSHのサルバドル・ナスラーラ候補が揃って記者会見を開き、PINUを含む3党間で大統領候補について一本化をし、カストロ候補を大統領候補、ナスラーラ候補を第1副大統領候補とする案で合意したことを発表した。
 - （イ）カストロ候補は会見で「ホンジュラス国民に平和を取り戻す瞬間がやってきた。政治は不可能を可能にする芸術である。そしてそれは今回の野党連合で実際に起こった」と述べ、今回の野党連合を「国民による同盟（La Alianza por el Pueblo）」と呼ぶことを発表した。

(ウ) ナスラーラ候補は会見で「前回選挙では、カストロ候補が下りて私が大統領候補となった。今回は私が下りて、カストロ候補が大統領候補になる番である。我々はZEDEs（雇用経済開発特区）の創設によってホンジュラスの主権を失いたくない。ZEDEs法の廃止は第一の公約である。同盟を組めば誰も我々を打ち負かせないはずである」旨述べた。

イ 10月14日、サンペドロスーラ大学で、高等教育協議会や国内メディア主催の主要大統領候補による討論会が開催予定であったが、各候補者がそれぞれの都合で欠席し、野党自由党ヤニ・ローセンタール候補のみの出席となった。

(ア) 同討論会については、与党国民党ナスリー・アスフラ候補からは出欠の回答がなく、リブレ党シオマラ・カストロ候補は病気を理由に、またサルバドル・ナスラーラ候補は直前にカストロ候補との野党連合による共闘合意が成立したため、結局、自由党ローセンタール候補のみの出席となり、モデレーターとローセンタール候補との対談形式で実施された。

(イ) ローセンタール候補は、学生などから事前に募った質問に回答する形で、若者の投票率が低いことは若者自身が政治を変えてより良い社会を築く機会を自ら失っていることを意味する、就任後100日までに国民全員にワクチン接種を実現する、それによって学校を完全再開する、サンペドロスーラへ最大60億レンピーラの投資計画を持っている等、説明した。

(ウ) 他にもモデレーターから「あなたは元受刑者である。元受刑者が他の候補者よりも優れているといえる根拠は何か？」という問いには、「確かに私は元受刑者である。しかし、汚職はなく、国民のお金を盗んだ訳でもない」と回答した。

(エ) またリブレ党への合流可能性を問われたところ、ローセンタール候補は「ベネズエラ、キューバ、ニカラグアのコピーを作るつもりはない。私はリブレ党の掲げる再興（Refundacion）に反対である。彼らの国家再興は、誤った方向にホンジュラスを向かわせる」と述べ、合流に否定的な立場を示した

ウ 10月、首都テグシガルパ及び当国随一の商業都市である北部サンペドロスーラの各市長選挙について、野党連合による統一候補が擁立されるに至り、地方選挙レベルでも野党共闘の動きが加速化した。

(ア) 首都テグシガルパ市長選挙

21日、野党連合「国民による同盟（Alianza Por el Pueblo：APP）」は、首都テグシガルパ市長選挙において、ホルヘ・アルダナ氏（リブレ党）を統一候補とすることで参加各党間で合意が成立したと発表した。

(イ) サンペドロスーラ（当国第二の都市）市長選挙

当国随一の商業都市である北部サンペドロスーラの市長選挙においても、リブレ党候補とホンジュラス救済党（PSH）候補が立候補を取りやめ、独立系市長候補であったロベルト・コントレーラス氏を統一候補として推薦する旨発表された。立候補を取りやめた2候補は副市長候補等となる。

エ 世論調査結果 1：パラディグマ社（調査日2021年10月14日～26日、サンプル数：3,463人、許容誤差：1.66%）。

（ア）今日が投票日であれば大統領選挙では誰に投票しますか

ナスリー・アスフラ（与党国民党）：27.7%

シオマラ・カストロ（野党連合）：25.7%

ヤニ・ローセンタール（自由党）：6.6%

その他：2.0%

わからない・無回答：14.6%

誰もいない（Ninguna）：23.4%

（イ）今日が投票日であればテグシガルパ市長選挙では誰に投票しますか

ダビッド・チャベス（与党国民党）：34.0%

ホルヘ・アルダナ（野党連合）：13.7%

エドゥアルド・マルテル（自由党）：5.1%

その他：4.9%

わからない・無回答：13.7%

誰もいない（Ninguna）：28.6%

（ウ）中絶には賛成ですか

はい：4.8%

いいえ：90.7%

わからない・無回答：4.5%

（エ）同性婚には賛成ですか

はい：10.0%

いいえ：86.1%

わからない・無回答：3.9%

オ 世論調査結果 2 : テクニマーク社(調査日2021年10月24日~28日)

(ア) 大統領選挙では誰に投票しますか

シオマラ・カストロ(野党連合):38.8%
ナスリー・アスフラ(与党国民党):25.5%
ヤニ・ローセンタール(自由党):8.4%
無回答:27.3%

(イ) 大統領選挙では誰には絶対に投票しないですか

ナスリー・アスフラ(与党国民党):65%
シオマラ・カストロ(野党連合):28%
ヤニ・ローセンタール(自由党):5.0%
無回答:2.0%

(ウ) 首都テグシガルパ市長選挙では誰に投票しますか

ダビッド・チャベス(与党国民党):26.5%
ホルヘ・アルダナ(野党連合):19.4%
エドゥアルド・マルテル(自由党):3.9%
ゴドフレッド・ファハルド(キリスト教民主党):1.7%
その他:1.3%
無回答:47.2%

カ 米州機構(OAS)の選挙監視団とEU監視団第2陣(MOE)の到着

(ア) 10月28日、ルイス・ギジェルモ・ソリス前コスタリカ大統領を団長とするOASの選挙監視団がテグシガルパに到着した。OAS選挙選挙団は最終的に80人以上になる見込みで、国内18県全県に分かれて活動する予定。ソリス団長は「監視団の使命は絶対的中立性と透明性であり、暴力のない選挙になることを願っている」と語った。

(イ) また、同日EUの選挙監視団第2陣の約30人も来訪し、3日間の研修を受けた後、10月31日から各地で選挙監視にあたることとなった。

(3) その他

ア イスラス・デ・ラ・バイア県のカリブ海リゾート地グアナハにおける大火災

- (ア) 国家危機管理対策本部（SINAGER）によると、10月2日に発生した大火災で同5日までに136軒の家屋・施設が全焼したほか、600世帯・約2,500人が間接的に被害を受け（注：人口約4,000人）、3人がやけど、煙の吸引などにより病院で治療を受けた。
- (イ) 5日、エルナンデス大統領は被災現場を訪問し、視察した。また、政府以外にも国内各所、各団体からの支援が開始された。イスラス・デ・ラ・バイア県商工会議所は、IDB（米州開発銀行）やBCIE（中米経済統合銀行）から支援の表明があった旨述べると共に、各国からの支援を受け入れる準備が整っているとした。
- (ウ) 一方、各メディアは、モラサン週間の連休を迎える中での今回のグアナハの火事は地元住民の居住区（注：礁島）で発生したものであり、別の島にある15軒のホテルに被害はなく、ほぼ通常通りの営業が可能であることを強調した。

イ 刑法改正

- (ア) モラサン週間（10月6日から10日）の連休中の7日に国会が召集され（オンライン国会）、刑法改正などについての法案を賛成多数（出席者数71議員）で可決した。
- (イ) 改正、もしくは廃止された法律（当地主要紙ラ・トリブナとりまとめ）
 - ① 刑法219条, 248条, 312条, 325条, 328条, 373条, 374条, 378条, 379条, 386条, 439条, 政令2017年第130号、各号の改正
 - ② 政令2017年第130号への第378-A条の追加
 - ③ 刑事訴訟法政令1999年第99-9-E及び第54条の改正、第26-B条及び224-A条の改正
 - ④ マネーロンダリング特別法第2条、26条、29条、30条、47条及び2014年政令第144条、各号の改正
- (ウ) 主な改正内容
 - ① 3月の予備選挙以後、選挙資金会計報告書未提出政党・候補に対する罰金適用の30日間猶予。
 - ② 人身売買にかかる禁錮刑の引き上げ（「5年から10年」を「10年から15年」）及び被害者に未成年（18歳未満）が含まれていた際の禁錮刑の33%増加
 - ③ 恐喝罪に係る禁錮刑引き上げ（恐喝によって倒産を引き起こさせた場合、恐喝の再犯者の場合、公務員である場合などが含まれる場合の禁錮

刑の33%増加)

- ④ 刑法及び刑事訴訟法の改正により、(抗議活動などによる)道路占拠は不動産違法占拠と同等とみなされ、刑罰の対象となる。
- ⑤ 「イスラス・デ・ラ・バイア県観光振興フリーゾーン法」の15年延長。

2 外交

(1) 米国との貿易関係強化

- ア 18日、ワシントンを訪問中のリベラ副大統領は、タイ米通商代表との間で、地域繁栄の原動力としてCAFTA-DR(当館注:米・中米自由貿易協定:2006年発効)の役割を再強化していくことで合意した。
- イ 会合の後、米通商代表部は、経済的機会の創出、腐敗との闘い、民主主義の強化などの重要性について再認識すると共に、両国がCAFTA-DRを促進、強化し、地域統合、貿易円滑化、能力開発を通じて同協定の機能強化を図るため、定期的に会合を持つことに同意した旨をコミュニケを通じて発表した。

(2) ホンジュラス・ベリーズ外相会談

- ア 14日、ロサレス外相がベリーズの首都ベルモパンを訪問し、コートニー外務貿易出入国管理相と会談し、両国間関係の中でも特に関心のある問題として、同国におけるホンジュラス人の季節労働者の滞在についての正式なメカニズムを模索することで合意した。
- イ ホンジュラス側はこの中で、ベリーズ出入国管理局による農業のハイシーズンにおけるホンジュラス人に対する一時的滞在許可拡大の要請を行った。これには不法に滞留しているホンジュラス人に対する安全で秩序だった帰還の促進を図る旨の内容も含まれている。
- ウ ベリーズ側コートニー外相は、帰還を望むホンジュラス人の安全な帰国を推進すると共にオーバーステイのホンジュラス人に対する罰金の免除などを含んだ恩赦を年末までに発表するとした。

3 経済

- ア 10月5日、国内主要紙ラ・トリブナが、当国中央銀行が当国外務省の協力を得ておこなった郷里送金(レメサ)の調査結果を報じる。
- イ 郷里送金の調査は、中銀が半年ごとに行っているもので、調査は電話インタビューが59.8%、サンペドロスーラの空港でのインタビューが28.8%、テグシガルパの空港でのインタビューが11.4%。
- ウ 米国にいるホンジュラス人の家族・親戚縁者がホンジュラスの家族を支えるために送金している額は現在、月平均で425.2米ドルに上っている。海外での平均

滞在年数6～10年のホンジュラス人は月平均479.9ドルの送金、20年以上滞
 在のホンジュラス人は月平均443米ドル、という結果であった。

- エ ホンジュラス国内への送金の44.9%は母親宛てであり、続いて兄弟や子供宛て。
 また、送金先（受取側）の所在地は、コルテス県が24.1%、フランシスコ・モラ
 サン県が13.2%、ジョロ県が9.5%、アトランティダ県が8.3%、オランチョ県
 が7.8%であった。また、郷里送金の受取側の用途について、83.2%が医療、教
 育、生活必需品の購入に充てていると回答した。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2021年				2020年	2019年
	9月	8月	7月	6月		
インフレ率（前年同月比）	4.62%	4.48%	4.26%	4.67%	4.01%	4.08%
貿易収支（百万ドル）	—	—	—	△2,029.1	△2,557.9	△3,107.4
輸出（百万ドル）	—	—	—	5,041.1	7,683.4	8,718.3
輸入（百万ドル）	—	—	—	7,070.2	10,241.3	11,825.6
外貨準備高（百万ドル）	8,972.9	8,632.8	8,632.8	8,645.4	8,148.8	5,808.9
外国からの送金（百万ド ル）	—	—	—	3,376.5	5,573.1	5,384.5
為替レート（対ドル月平均）	24.22	23.93	23.93	24.13	24.75	24.68

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支、輸出、輸入、外国からの送金は、
 四半期毎に発表

（了）